

絹地区小学校の統合検討についてのお知らせ

平成27年2月 第1号

小中一貫校（絹中学区）推進委員会



子どもたちのより良い教育環境づくりのため、 学校統合や小中一貫校に関する検討を進めています！

● 絹中学区における学校統合・小中一貫校の検討について

福良小・梁小・延島小の児童数は合計で、平成26年度206名から平成32年度175名へと減少傾向にあります。また、延島小では平成28年度一部が複式学級（2学年で1学級を編成）となることが見込まれます。1学級の人数が少なくなると切磋琢磨する機会の減少や、人間関係が固定化し、コミュニケーション能力が身につけにくい、児童から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じるなどの課題が出てくることから、子どもたちの教育環境の充実が課題となっています。

このことから、小中一貫校（絹中学区）推進委員会を、平成26年7月に発足し、学校統合や小中一貫校の具体化に向けた検討を進めています。これまでに計5回の会議を開催し、現在は、統合にあたっての課題整理や条件などをまとめた「小中一貫校（絹中学区）施設整備等に関する基本計画（案）」の検討を行っており、この案を3月の委員会で基本計画として決定する予定となっております。

検討にあたっては、地域の皆さまのご意見や考え方をお聞きするため、アンケート調査や、小学校ごとに保護者や自治会等を対象とした説明会等を実施しました。このたび、その結果や、学校統合及び小中一貫校に関する課題と方向性を共有するため、地域の皆さまにお知らせするものです。

今後も、子どもたちにとってより良い教育環境づくりのため、地域のご意見をお聞きしながら、また、学校関係者や小山市と連携しながら検討を進めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

● 地元説明会・アンケート調査の結果概要

絹中学区では、平成26年10月末から12月初めにかけて、小学校ごとに保護者や自治会等を対象にした説明会（計7回）を実施しました。参加結果は以下のとおりです。

実施日	対象	参加者数
10月27日（月）	延島小（保護者）	35人
10月28日（火）	梁小（保護者）	24人
11月4日（火）	福良小（保護者）	25人
11月10日（月）	福良小（自治会）	8人
11月11日（火）	梁小（自治会）	14人
11月13日（金）	延島小（自治会）	12人
12月5日（金）	絹公民館（予備日）	3人

また、小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等を推進するにあたり、住民の皆様のご意見や考え方を把握するため、平成26年9月にアンケート調査を実施しました。その回収結果は、配布数449票、回収数212票（回収率：47.2%）となりました。

説明会・アンケートから抽出した課題などについては、裏面にまとめました。

※この会報は、絹中学区にお住まいの方を対象に配布しています。

●児童への教育的な効果について

平成27年1月文部科学省から公表された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（案）」より、先進地での児童生徒への直接的な効果として次のものが報告されました。

- ・良い意味での競い合いが生まれた、向上心が高まった。
- ・以前よりもたくましくなった、教師に対する依存心が減った。
- ・社会性やコミュニケーション能力が高まった。
- ・切磋琢磨する環境の中で学力や学習意欲が向上した。
- ・友達が増えた、男女比の偏りが少なくなった。
- ・多様な意見に触れる機会が増えた。
- ・異年齢交流が増えた、集団遊びが成立するようになった、休憩時間や放課後での外遊びが増えた。
- ・学校が楽しいと答える子どもが増えた。
- ・進学に伴うギャップが緩和された。
- ・多様な進路が意識されるようになった。



●地元説明会・アンケートから抽出した課題について

地元説明会やアンケート調査を集計した結果、次の課題が抽出されました。今後、この課題を解決するための方策を本委員会で検討し、絹地区の子どもたちにとってより良い教育の充実を図っていきます。

説明会・アンケートから抽出された課題について

1 学校の設備・機能等の充実

地域・保護者の意見を聞きながら施設整備を進めていくことが必要となります。

2 通学距離・通学時間が長くなる児童の通学手段の確保、通学路の整備

スクールバスの導入を求める意見が一番多くありました。また、通学路の利便性を向上させ、安全性を確保することが必要となります。

3 きめ細やかな指導の確保や児童と教師が交流する機会の充実

統合した場合、児童数が増加することから、引き続き、きめ細やかな指導を確保することが大切なこととなります。

4 学校行事、児童活動、部活動等の充実

一定の児童数を確保し、学校行事や児童活動、部活動等を充実させることが必要となります。

5 小中一貫校移行時の児童の精神的な負担の軽減

環境の変化に対する児童の精神的な負担を軽減することが大切なこととなります。

6 学校跡地の活用方法の検討

7 地元の意見を聞く機会の継続や情報提供の充実

